

【議事録】

審議会等名	令和4年度 第2回つくばみらい市男女共同参画推進委員会
●日 時	令和4年10月4日(火) 午後2時00分～午後3時30分
●場 所	つくばみらい市役所伊奈庁舎3階 大会議室
●出席委員	高木玲子委員長、間宮正孝副委員長、磯部等委員、太田真由美委員、大野美香委員、高田武彦委員、高野幸江委員、根本志枝委員、人見実俊委員、村上昇委員
●欠席委員	なし
●事務局	市長公室 菊地公室長 地域推進課 中島課長、関課長補佐、飯村主査、小倉主事
●傍聴人	なし
●次第	1 開会 2 委嘱状交付 3 委員長あいさつ 4 議事 (1) 市男女共同参画計画に基づく令和2年度事業実施状況報告に対する意見の進捗状況について(報告) (2) 市男女共同参画計画に基づく令和3年度事業評価・意見書について (3) 市男女共同参画推進事業について 5 その他 6 閉会
	1 開会(午後2時00分) 2 委嘱状交付 3 委員長あいさつ(高木委員長) 4 議事 ・委員長が議長となり以下の議事進行を行った。 (1) 市男女共同参画計画に基づく令和2年度事業実施状況報告に対する意見の進捗状況について(報告) ・事務局より説明を行った。 【質疑・意見等】 なし (2) 市男女共同参画計画に基づく令和3年度事業評価・意見書について ・議長が委員に市に提言する事業について審議を求めたところ、次の意見があった。 【質疑・意見等】 委員: 両親学級について、これから生まれてくる子どものお父さんに対し、中学生出前講座の内容を伝えられたら良いと思う。自分が妊婦の時は、夫が妊婦体験をして、どのようにお腹が重くなるのか経験していたが、それだけではなく、妊婦が家事をすることがどれくらい大変なのか

などの体験ができると思う。

委員 : 事務局の方で、出前講座に今のような意見をすぐに反映するのは難しいのか。

事務局 : すぐにとするのは難しい。内容の検討が必要である。

委員 : 出前講座の中で取り入れるのが難しいのであれば、妊婦の夫向けと、学校の先生向けにできれば良いと思う。学校の先生や幼稚園の先生は無意識のうちに、女の子はピンクなど固定概念がある。大人に対して啓発を行って欲しい。

委員 : 結婚したいという気持ちを持っていない人が多く、私の職場では、18人中1人しか結婚していない。男女ともに結婚したいと思えるような内容を出前講座に盛り込んでいただければと思う。

委員 : 出前講座は、人として自由な生き方を尊重することが中心であるため、結婚したいと思えるような内容を取り入れることは難しいと思う。そのため別の項目で今の意見を反映できればと思う。

委員 : 事業番号としては、25番の「家庭生活の責任分担に関する啓発の推進」と1番の「男女共同参画推進の拠点としての情報提供や啓発活動の実施」と9番の「道德教育を通じた男女平等教育の実施」に関連していると思う。

委員 : 全国の1,741の市区町村のうち6割が、防災の危機管理部門の女性職員が0人という統計をみた。女性が1人だけだと発言が個人的な意見と捉えられてしまうと思う。つくばみらい市ではどのように、防災の危機管理部門が編成されているのかわからないが、どのような体制であるのかを市民にもわかるようにして欲しい。下水道の会議に参加した際、常総市の災害時に、女性の職員が少ないとの意見がかなりあったと聞いた。女性の職員でなくても、ボランティアで女性が災害時に対応してもらえると良いと思う。

事務局 : 常総市の災害時は、本市の避難所が利用された。その際にはマンパワー不足の状況であった。昨年度より消防団にも避難所の設営を手伝ってもらうことになった。中には女性の消防団員もいるため、その方たちには、避難場設営に関わらず、男性だけではできないようなソフト面についても活躍していただけるように、少しずつではあるが進んでいる。

委員 : 防災に関する内容が市民にアピールできていない。今は、気象の変動が激しく、災害が身近であるため、防災が必要不可欠である。市民にも、いざというときに、市がどういった体制で災害時に対応してくれるのか、市民にわかりやすく情報発信をしていく必要があると思う。

今の若い人は、消防署しか知らないことが多く、消防団については知らない人が多いと思う。以前は、消防団の活動が活発だった。今の若い人が消防団をどれくらい知っているのかわからないが、アピールしていくことが必要だと思う。

委員 : 出前講座のところで、結婚出産が遠のいているということについて、今の若い世代の夫婦は、2人ですべての家事をやらなければならない状況で、特に男性は残業することが多いことや、賃金の低下や、共働きをしないと子どもを育てていけないような状況である。結婚すれば、金銭面で大変になり、結婚や出産に対するイメージも悪くなってしまうので、行政サービスを若いときから知っておくことが重要だと思う。そうすれば、つくばみらい市で子育てするイメージがしやすくなると思う。

行政サービスを知らないと、自分が辛い状況にあるときに、頼る場所を見つけるのはなか

なか難しいと思う。子どもの段階で、市で色々な支援をしてくれるサービスがあることを知っているのと、知らないのとでは、状況がかなり変わると思う。

委員：これからつくばみらい市に転入してくる方は、そういった情報を受け取る機会が多いが、既に市民の方たちにはそのような情報を受け取る機会が少ないと思う。

委員：市としては、広報などで情報を発信しているつもりだとは思いますが、それが行き届いていないのかもしれない。

委員：つくばみらい市には小学生が多いが、その子どもたちが大きくなって市外に出てしまうのではないかと危惧している。結婚しても、また戻ってきたいと思えるような市にできれば良いと思う。

・上記審議のうえ、議長より市へ提言する意見書の内容について、以下のとおり提案・決定された。【全員異議なし】

意見1 学校における男女平等の徹底について

意見2 ワーク・ライフ・バランスの促進について

意見3 防災分野への女性の参画について

意見4 子育て支援の充実について

(3) 市男女共同参画推進事業について

・市が実施する男女共同参画推進事業について、事務局より説明した。

【質疑・意見等】

なし

5 その他

・第3回つくばみらい市男女共同参画推進委員会の開催を以下のように決定した。

令和5年1月24日（火）午後2時から 伊奈庁舎3階大会議室

6 閉会（午後3時30分）

●配布資料

- ・令和4年度第2回 つくばみらい市男女共同参画推進委員会 会議次第
- ・男女共同参画推進委員会委員名簿
- ・令和4年度第2回 つくばみらい市男女共同参画推進委員会 会議資料